

授業科目	外科学	2 学年・後期・2 単位 (30 時間)	
		理学 作業	必修 選択

科目担当責任者	水口 徹 (保健医療学研究棟 E314 号) e-mail : tmizu@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(原田 敬介)、(巽 博臣)、(澤田 敦史)、(三上 毅)、(川原田 修義)、(宮島 正博)、(高野 賢一)、(杉村 政樹)、(西田 幸代)、(四ッ柳 高敏)、(九富 五郎)		
概要	外科治療における医療スタッフとして必要な基礎知識を習得する。専門領域ごとに術前管理・術後管理には特徴があり、本学を代表する専門講師陣により、基礎知識から高度専門領域までを網羅した近代外科を結集した包括的授業となる。国家試験に必要な知識はもとより、卒後の実地臨床に必要な知識に加え、生涯学習につながる将来の課題を見いだせることを目標とする。本科目では周術期におけるリハビリテーションとの分担的役割を外科的治療の基礎と実際の疾患と関連づけた統括知識として習得する。国家試験に対応した実践的な問題に対し、十分な理解力と回答力を涵養する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手術前・術後管理とリハビリテーションの役割を説明できる。</li> <li>2. 外科的治療の基礎と疾患を説明できる。</li> <li>3. 終末期患者の病態を理解し、リハビリテーションの係わりを説明できる。</li> <li>4. 過去の国家試験問題に対して 70%以上の正答を得る。</li> </ol>		
関連科目	病理学、生理学、解剖学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	試験	90%	
	出席状況・小テスト	10%	
評価は試験(90%)と出席状況・小テスト(10%)によって行い、相対点として60%以上を合格点とする。			
教科書	指定なし		
参考書	① 畠山勝義(監修) 北野正剛/田邊 稔/池田徳彦(編) [最新版] 「標準外科学 第14版」 医学書院 ② 医療情報科学研究所(編) [最新版] 「病気がみえる vol.1 消化器(第5版)」 MEDIC MEDIA ③ 森田 孝夫/東条 尚 編 [最新版] 「研修医のための外科の周術期管理ズバリおまかせ」 羊土社		
履修上の留意点	教科書・参考書はがあると望ましい。病気がみえる vol.1 消化器(第5版)MEDIC MEDIA は将来にわたって使える。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	外科医療の基礎 (手術侵襲, 腫瘍, 外科的基本手技)	事前: 指定参考書にて予習する。	講義	水口
2	外科救急の実際 (救急処置法, 人工呼吸器・トリアージ・DCS)	事前: 指定参考書にて予習する。	〃	(原田)
3	外科集中治療の基礎 (静脈栄養・経腸栄養・血液浄化)	事前: 指定参考書にて予習する。	〃	(巽)
4	麻酔法 (全身麻酔, 術前管理・術後管理)	事前: 指定参考書にて予習する。	〃	(澤田)
5	心臓・血管疾患の外科治療	事前: 指定参考書にて予習する。	〃	(川原田)
6	呼吸器疾患の外科治療	事前: 指定参考書にて予習する。	〃	(宮島)
7	消化管疾患 (上部・下部)の外科診療	事前: 指定参考書にて予習する。	〃	水口

8	肝胆膵疾患（肝臓・胆嚢・膵臓）の外科診療	事前：指定参考書にて予習する。	〃	〃
9	脳神経疾患（疫学・診断・外科治療・予後）	事前：指定参考書にて予習する。	〃	（三上）
10	耳・鼻、咽頭疾患（疫学・診断・外科治療・予後）	事前：指定参考書にて予習する。	〃	（高野）
11	産婦人科疾患（疫学・診断・外科治療・予後）	事前：指定参考書にて予習する。	〃	（杉村）
12	泌尿器科疾患（疫学・診断・外科治療・予後）	事前：指定参考書にて予習する。	〃	（西田）
13	形成外科領域の対象疾患	事前：指定参考書にて予習する。	〃	（四ツ柳）
14	乳腺疾患（疫学・診断・治療・予後）	事前：指定参考書にて予習する。	〃	（九富）
15	外科疾患の総括	事前：指定参考書にて予習する。	〃	水口